

第125号 舞岡地区連合会・社協だより

今年も舞岡地区連合会は町内会や地域のつながりを大切に「住んでよかった」と思える活動を続けていきます

第六回焼き芋祭り

晴天の11月19日(日)10時から、舞岡川遊水地公園でふるさと舞岡花さかクラブ主催の「焼き芋祭り」が開催されました。舞岡全域をはじめ近隣地域からも1000人を超える多数の来場があり、開会式では連合町内会会長の金子昭氏の挨拶に続き、横浜市立大学木原生物研究所の皆さま、舞岡柏尾地域ケアプラザ横山所長ほかの方々に祝辞と激励の言葉をいただきました。木原生物学研究所からは研究栽培された「安納芋」が多数寄付され、焼き芋として皆様に配られました。綿菓子、焼きそば、トルネードポテト、トロピカルジュースほか多くの出店や、戸塚東口商店会から応援参加を頂き、お祭りの楽しさを満喫できる環境が整っていました。

花さかクラブ会員同士の親睦のために始まった「焼き芋まつり」が、今では舞岡に無くてはならない冬のイベントとして定着しました。先着順で無料配布する焼き芋と豚汁も会員や地域の子供会、有志の皆さんの協力で調理したものを一緒に食べながらお祭りを楽しもう！という主旨に変わって参りました。花さかクラブも飲み物や「冬の花苗」を廉価で販売し、一緒に『舞岡を花いっぱい！』と思いながら花苗を大事にお渡ししました。

会場内に公園のマスコット『あいごぼん』が登場すると周りを小学生が囲み、触れ合いを楽しむ光景が来場者を和ませてくれました。プログラムでは島ちゃんバンド(舞岡第三)やフラダンスチーム(舞岡で結成)が演奏や歌、そして踊りで会を大いに盛り上げておりました。

実行委員 坂本孝徳(第三町内会)



舞岡地区社会福祉協議会研修

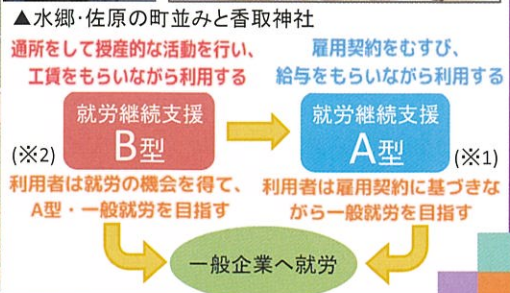
11月2日(木)千葉県香取市にある就労支援施設「恋する豚研究所」の施設見学に各町内会長・地区センター加藤館長・ケアプラザ横山所長・民生委員&OBなど25名で行って来ました。独特の施設名ですが研究はしていません。

ここはA型就労支援施設(※1)で、1階の工場で精肉加工・スライスや腸詰、2階レストランで食事ができます。そういった施設と知らなければ分からない程お洒落なデザインの建物です。広い敷地に畑などもありB型就労施設(※2)が運営されています。職員80人の内50人が障害を持つ職員だそうです。

施設責任者の方は「障害者が作っているのだから買って下さい」ではなくパッケージも良く美味しくて質の良さを知って正当な価格で購入してもらうことが重要だと話されていました。障害者施設なので手順やマニュアルなど働きやすい環境ですが「障害者」と「健常者」という対照的な視点ではなく「人は誰にも苦手なことはあり、たまたま表に出ていないだけで皆同じですよ」と日々職員に伝えていると言うお話は印象的でした。全ての職員が働きやすい環境作りをしつつ、建物やロゴの見た目も大事にして職員全員で「恋する豚研究所」と言うブランドを作る意識を持っている施設なのだを知ることができました。

2階レストランで美味しく昼食をいただき、その後佐原の古い街並みを散策し、香取神社に参拝して帰途につき充実した研修になりました。

民生委員児童委員 丹 美鈴(第三町内会) 1階食肉加工工場 ▼2階レストラン



舞岡公園の里山保全活動

～ちょうどいい社会とのつながり舞岡公園～

皆さまの地域に隣接する舞岡公園は、横浜の特徴的な景観である谷戸の地形(三方を山に囲まれた細長い谷)を活かした昔ながらの里山風景が残された公園です。田んぼや畑、雑木林などの農的自然而を育み、息づく生きものへの心配りも大切に、様々な生きものが織りなす豊かな自然の営みが末永く続くことを願って開園されました。

開園から30年の間、近隣の皆さまを始め多くの市民の方々の保全活動によって里山風景が守られてきました。田起し・代かき・田植え・田の草取り・稲刈り・脱穀などを昔ながらの手作業で行う田んぼ作業、落ち葉や刈り草をたい肥にした有機肥料を使い無農薬で野菜を栽培する畑作業、谷戸を囲む雑木林の間伐・下草刈り・炭焼きにより里山の資源循環を図る雑木林作業、また外来植物を抜いたり保全したい植物の生育環境を整えたりする生態系維持保全活動など様々な里山保全活動があります。里山保全活動の指導スタッフを養成する専門講座(谷戸学校)もあり、年間42のカリキュラムが生まれ座学と実習を行っています。

現役世代の皆さまは仕事で疲れた時の息抜きに、定年退職前後の皆さまは次のやりがい探しに、地域活動や社会貢献活動に興味のある皆さまも、ぜひとも舞岡公園の里山保全活動にご参加ください。舞岡公園の里山を更に未来に引き継ぐために、私たちと一緒に楽しく保全活動を始めてみませんか。【舞岡公園 小谷の里事務局 安田さやか】824-0107

近隣の皆さまの
お力が必要です



畑作業



田んぼ草取り



雑木林下草刈り

防犯指導部の活動

舞岡地区連合町内会・防犯指導部は戸塚警察署、戸塚防犯指導員連絡協議会の委嘱を受け【安全・安心な街づくり】をスローガンに日々の活動を行っています。①特殊詐欺被害防止のための啓発活動の推進、②少年を非行から守るための防犯講話、防犯訓練の実施、③乗り物盗、痴漢、ひったくり、サイバー犯罪等の各種犯罪被害防止を目的とした防犯活動を、神奈川県防犯協会連合会、戸塚防犯協会、町内会・自治会、戸塚区まちの安心・安全推進連絡協議会、戸塚警察署等関係団体と協力して行っています。

特にここ十年来被害が多発している**特殊詐欺**(オレオレ詐欺、還付金詐欺、アポ電強盗等)の被害防止を最重点項目としています。活動内容は、①連合町内会消費生活推進部のご協力、特殊詐欺被害防止啓発のためのチラシの作成と回覧板への添付、②毎月十日、戸塚駅前または東戸塚駅前での**防犯キャンペーンの実施**(チラシやグッズの頒布)③戸塚区主催の区民行事(区民祭り、桜まつり等)に参加し防犯キャンペーン、④青色パトローカーを使って舞岡町・南舞岡一円を巡回し広報活動⑤町内会館・自治会館等での防犯講話のお手伝い等を行っています。

最後に、電話を使った**特殊詐欺犯**は電話番号を「非通知」にしています。そして声が録音されることを極端に嫌います。被害にあわないためにも家の固定電話は「るす電」にセットし、電話にすぐに出ることはやめましょう。

舞岡地区 防犯指導部部長 片山弘毅(南舞岡)



東戸塚駅前での
啓発活動

かすみ草の会

舞岡地区ではお一人暮らし高齢者の食事会を30年もの間続けてきた『かすみ草の会』は“新型コロナウイルス感染症予防”のため何度も中止せざるを得ませんでした。そんな状況下、せめてつながりを保ちたいと『かすみ草だより』を発行しクイズ・脳トレを添え、お答え等の返信をポストに投函していただきました。外出できない日々、やり取りを通じて近況や思い出をうかがい紙面に載せることもありました。

開催復活に向け、少人数グループに分け講座だけや、短時間の内容から始め、徐々に人数を増やし会員全員で***音楽セラピー+腹話術*悪徳商法・詐欺被害の未然防止講座*フラワーアレンジメント講座*チャーム体操**など様々お楽しみいただきました。お持ち帰りだったお弁当も最近は会場で一緒に食べています。5月からの催しは、地域の食事ボランティアの暖かい食事を一緒にいただける日を待ち遠しく思っています。 **かすみ草の会 上田ミチル(舞岡第一)**

